

職種別に最適化した教材学習カリキュラムによる 図書館職員向けの人材育成の実践

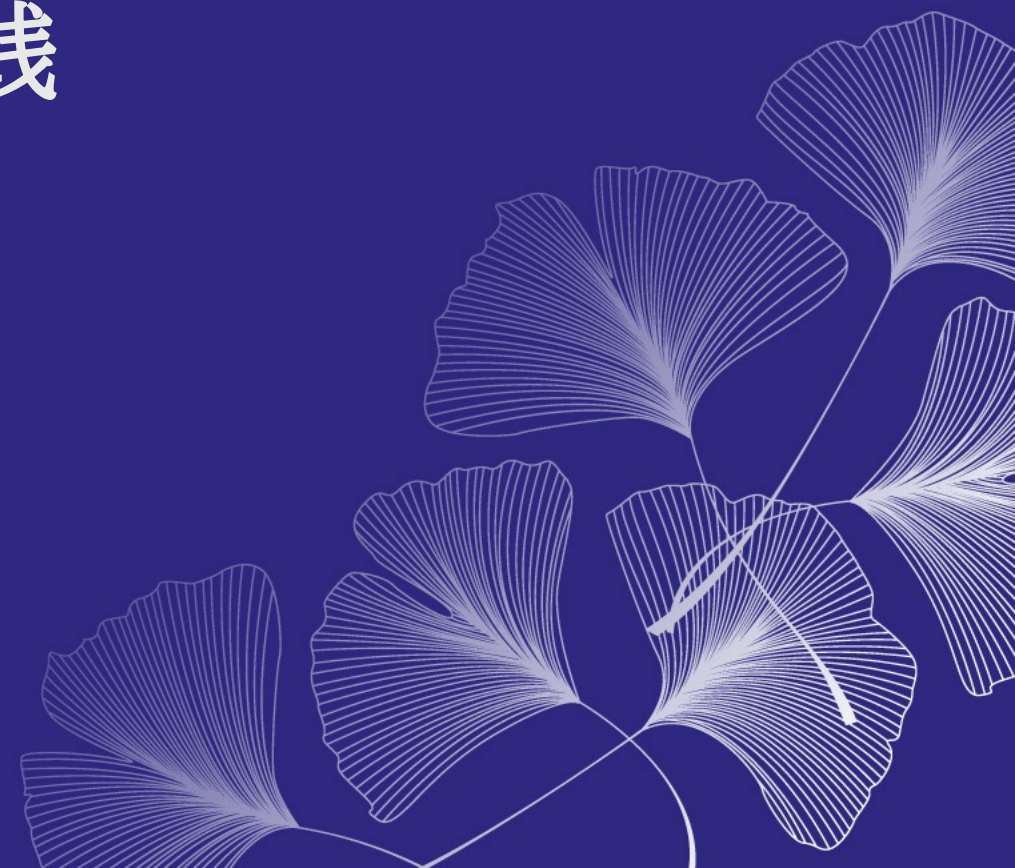
大阪大学附属図書館研究開発室

神崎 隼人

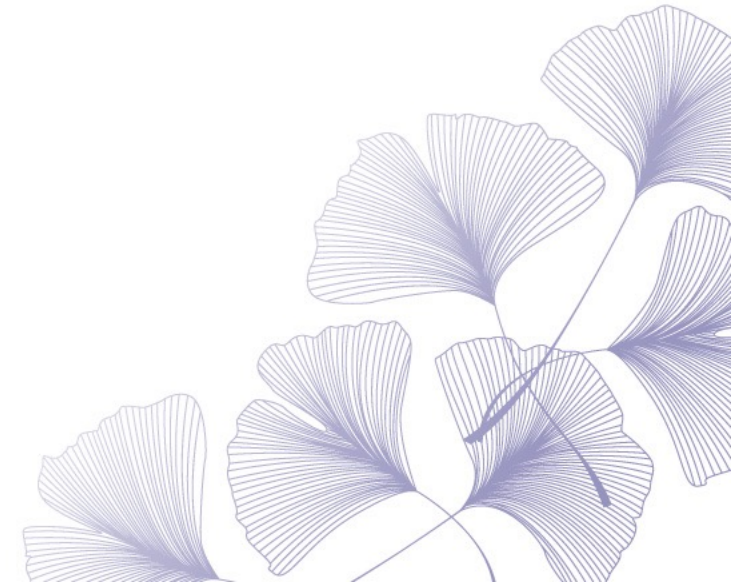
研究データエコシステム構築事業シンポジウム 2025

— AIとデータ基盤がつなぐ、多様な知の最前線 —

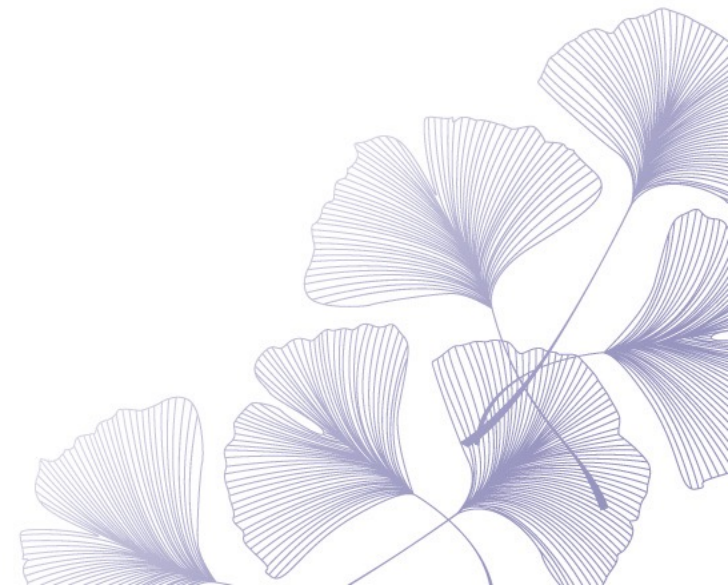
10月10日(金)「研究データエコシステム事例紹介」



1. 研究データ管理支援者としての大学図書館職員と人材育成
2. 自大学機関に適したRDM教材をつくる
3. 職種に適した学習環境
4. おわりに



研究データ管理支援者としての 大学図書館職員と人材育成



- 大学図書館への期待
 - オープンサイエンスを背景に研究データ管理において期待。①学内の研究データ管理問合せ窓口、②機関リポジトリへの研究データ登録・公開、③データキュレーション、④データのライセンス関係*1
- 現場における人材育成努力
 - 2025年「大学図書館職員長期研修」…国際的なオープンサイエンスを背景に、研究支援の重要性、そこでの研究データ管理について取り上げる*2
 - ※広い文脈) 大学図書館専門職員に対する教育の制度化は歴史的に欠如*3
- cf. 米国のサブジェクト・ライブラリアン*4や欧州のデータスチュワード／データチャンピオン*5
- 業務・課題、特に中小私立大*6:
 - 人員削減・途絶、頻繁な人事異動による熟練や継承の困難さ
 - 研修体制の不備、専門知識の深化・スキルの高度化の要求
- 「研究データ管理支援」は新しく、複雑、急激、大変

*1) 船守美穂 (2024.3) 「講演 オープンサイエンス時代における大学図書館への期待—研究データ管理と即時OAにどのように立ち向かえば良いのか?」第109回全国図書館大会岩手大会記録. <https://researchmap.jp/funamori/misc/45920666?lang=ja>

*2) 池内有為 (2025) 「大学図書館と研究支援」令和7年度大学図書館職員長期研修講義資料 (https://tsukuba.repo.nii.ac.jp/record/2016332/files/2025_11_resume.pdf)

*3) 利根川樹美子 (2016) 『大学図書館専門職員の歴史——戦後日本で設置・教育を妨げた要因とは』勁草書房。

*4) 田中あずさ (2017) 『サブジェクト・ライブラリアン——海の向こうアメリカの学術図書館の仕事』笠間書院

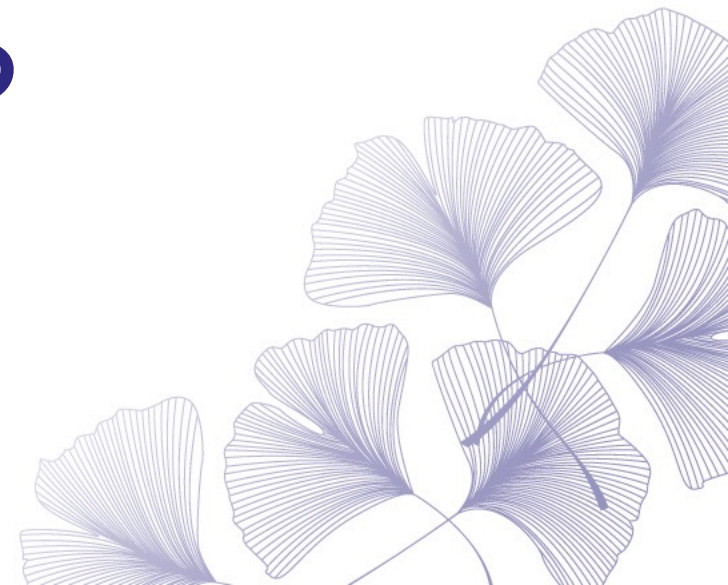
*5) 宮崎祐汰・石田栄美 (2025) 「データスチュワードとデータチャンピオン——英・蘭3大学のRDM支援人材を例に」『大学図書館研究』128:1-10.

*6) 大学図書館の仕事制作委員会編 (2006) 『知っておきたい大学図書館の仕事』エルアイユー。

- 課題: オープンサイエンスや研究データ管理支援における大学図書館に対する期待やあるべき姿は認めつつ、現実的には効果的・効率的かつ現場の負担を軽減させるような人材育成環境構築が求められる。
- 人材育成環境 … NII×大阪大学。オープンサイエンスにおいては教育資源・プラットフォームもオープンなものへ(OER)。RDMの知識とスキルは、標準的な基礎は共有されつつも、各機関・職種によってローカル化する必要*1
- 本発表⇒ オープンサイエンス・研究データ管理における大学図書館職員に向けたe-learningでの知識習得・スキルアップ

自大学機関に適した教材をつくる

——学認LMS「自機関限定コース」



「自機関職員向けの研修教材を作りたい」

とりあえず、スタンダードな知識を
インプットしたいな



共通コース



自分の機関に特化した内容を知り
たいな

自機関コース



研究データ管理講座

- OS推進のためのRDMについての支援者向けコース。
- 「研究データ管理サービスの設計と実践」
- 「オープンサイエンス時代における研究データマネジメント基礎」



自機関限定の教材

- 自機関作成の教材を登録し、自機関ユーザー限定で公開。
- P+M「合成音声教材付き動画教材作成システム」

「自機関職員向けの研修教材を作りたい」

とりあえず、スタンダードな知識を
インプットしたいな



共通コース



GakuNin
LMS

自分の機関に特化した内容を共
有したいな／知りたいな



自機関コース

研究データ管理講座

- OS推進のためのRDMについての支援者向けコース。
- 「研究データ管理サービスの設計と実践」
- 「オープンサイエンス時代における研究データマネジメント基礎」



自機関限定の教材

- 自機関作成の教材を登録し、自機関ユーザー限定で公開。
- P+M「合成音声教材付き動画教材作成システム」



「自機関職員向けの研修教材を作りたい」

自機関コース

みんなには、共通コースのいくつかのトピックだけ見てもらえればいいかな。

⇒ 共通コースのマイクロコンテンツ教材の使いたいコンテンツ＝トピックだけ組み合わせて動画を作り、登録



うちの大学のローカルチームや、ルール・ガイドラインと対応した、特化した教材があったらいいな。

⇒ 共通コースの汎用的なコンテンツを、自機関に合った仕方でカスタマイズ。または、新しいコンテンツをPPTスライドで作成し、動画に変換。

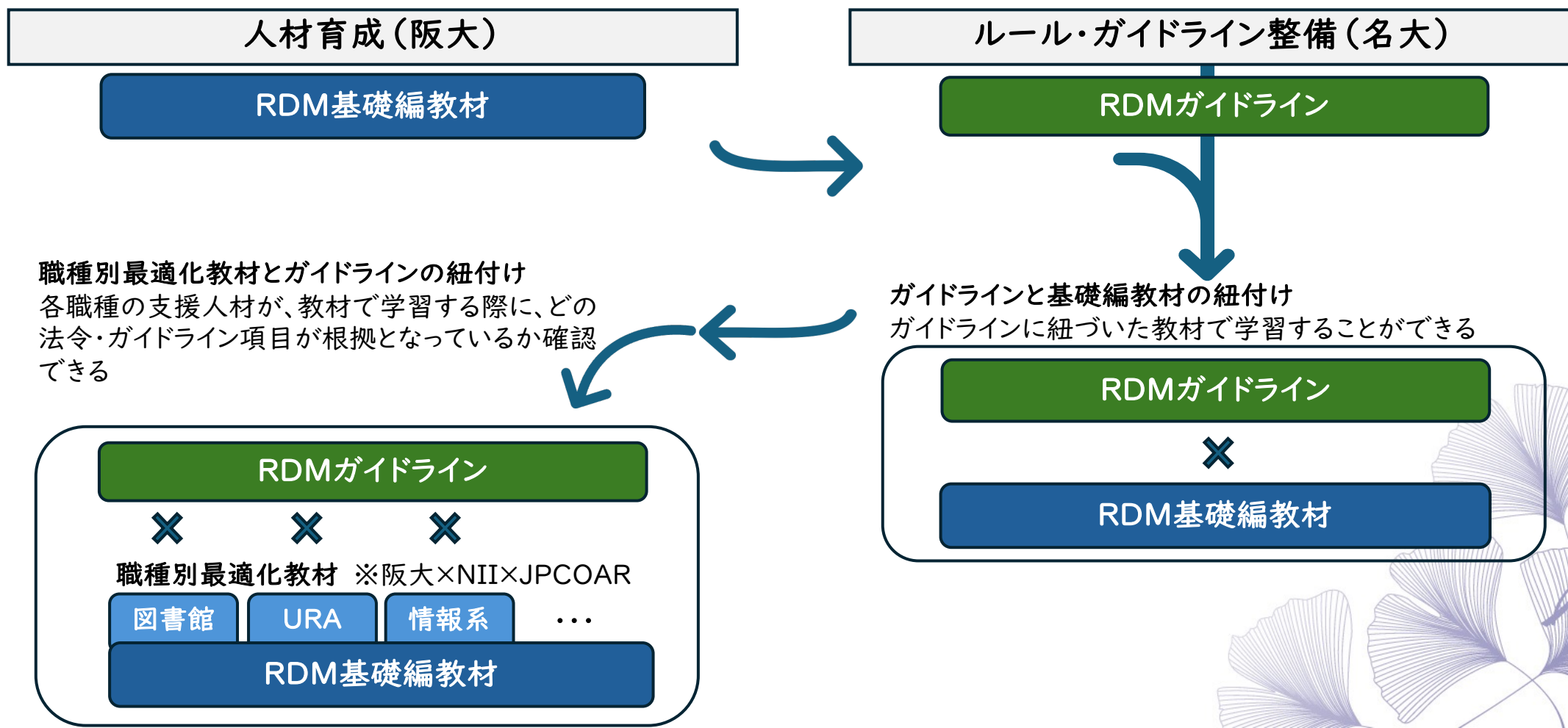


各自が受講



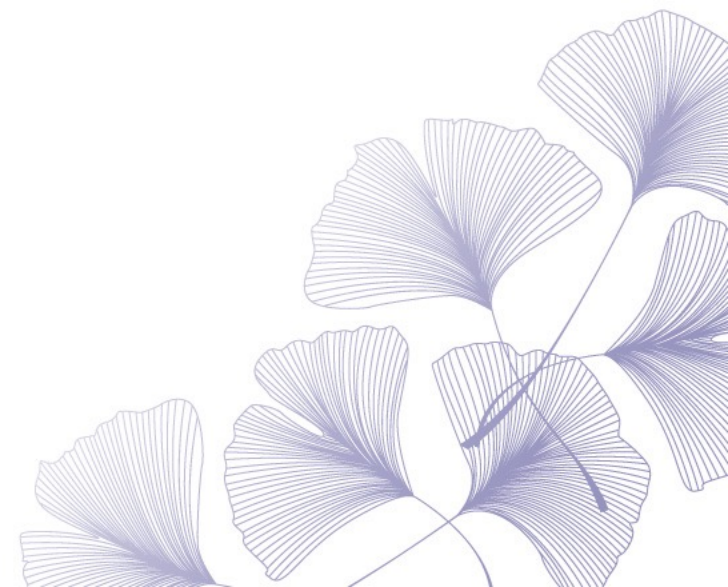
「自機関職員向けの研修教材を作りたい」

参考例：名古屋大学－大阪大学連携



職種に適した学習環境

——「個別最適化機能」のイメージ



「研究支援者」＝ URA、情報基盤、図書館など、様々な職種が共在・連携⇒RDMのライフサイクルを支える

図書館職員



情報基盤

全学／各部局URA

「研究支援者」＝ URA、情報基盤、図書館など、様々な職種が共在・連携⇒RDMのライフサイクルを支える

図書館職員

情報基盤

全学／各部局URA



大学図書館職員(職種)の例



現在、機関リポジトリ登録担当

これまでレファレンスサービスで5年勤務

他ひととおりの業務経験あるも、近年の科研のDMPなどは勉強中



現在、管理職

図書館による学内研究者支援基盤の充実、人文社会科学分野のRDMやデータ公開の促進に関心



図書受入担当

半年前に配属、これまでに図書館勤務経験なし。元々は歴史学系研究者で、古文書や2次資料の取り扱いは専門。今後リポジトリ担当になる可能性もあり。

自分に必要なトピックだけ学習したい

A大学
各機関担当者



学習テーマ

学習
コンテンツ

ユーザの属性
例：A大学
図書館職員

A大学
図書館職員



Home ダッシュボード マイコース

あなたは testuser librarian としてログインしています



①A大学図書館職員向けのコンテンツを表示

日本語 (JA) ▼

研究データ管理の個別最適化学習支援コース (スキル最適化)

ユーザ属性

あなたのユーザ属性は以下のとおりです。

• 大学図書館職員

図書館職員は、大学や研究機関で働き、機関リポジトリにおいて研究データの整理・登録を行う役割を担うことが期待されています。研究データ管理の基本的な知識に加え、論文のオープンアクセス化や研究データ管理の公開を担当する責任を負います。

学習テーマ

学習テーマごとの状況は以下のとおりです。

学習テーマ「テーマ1：オープンサイエンスと研究データ管理の基礎」

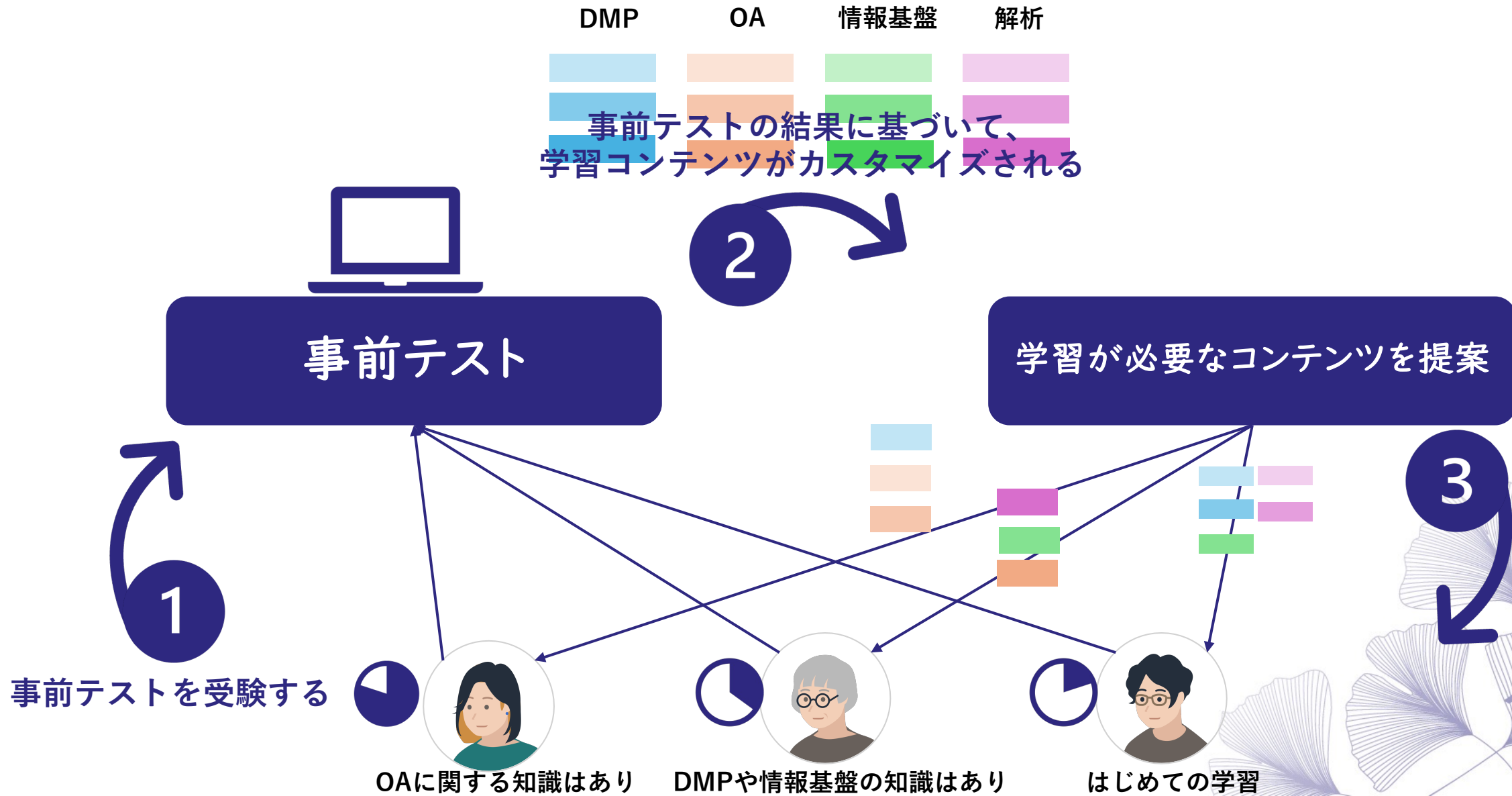
このテーマと関連する教材

- Pre-Test to check skills in Theme1 **未着手**
このテーマのスキルを確認するための事前テスト
- LO1_1: オープンサイエンスと研究データ管理 **未着手**
LO1_1: オープンサイエンスと研究データ管理
- LO1_2: 研究データポリシーの作成と更新 **スキップ可能**
LO1_2: 研究データポリシーの作成と更新
- LO1_3: データマネジメント計画 **スキップ可能**
LO1_3: データマネジメント計画

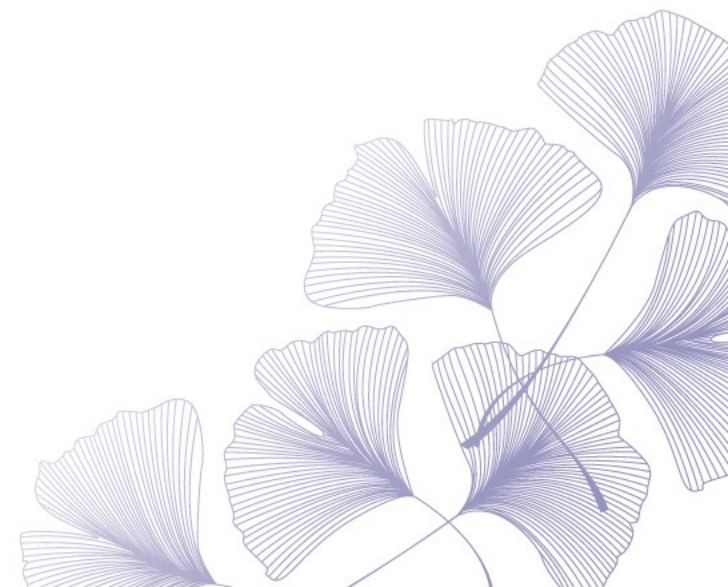
②知識・スキルを確認するための事前テストを受験

③学習が必要なコンテンツのみ学習

個別最適化システムのイメージ



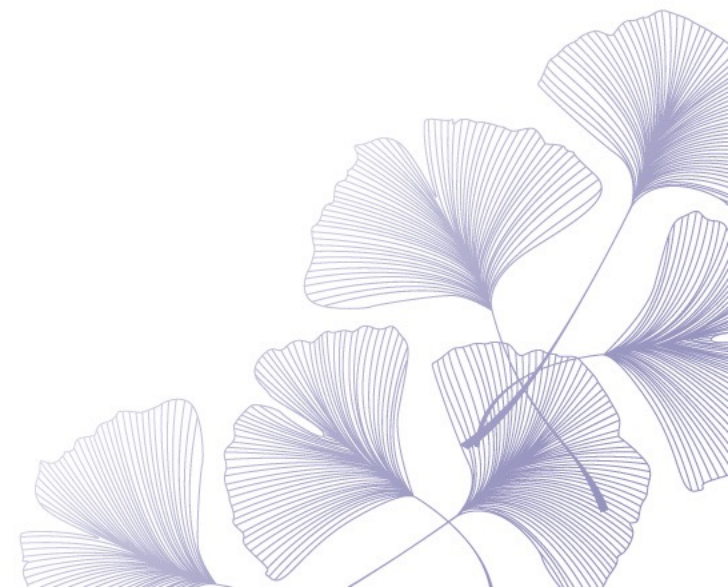
おわりに



- 「標準的な知識を身に着けたい」とき
 - 共通コースのRDM講座
- 「自分の大学・機関に特化した知識を身に着けたい」とき
 - 自機関限定コースで共通コースをアレンジ
- 「自分の業務・経験に見合ったスキルを身に着けたい」とき
 - 個別最適化システムで学習



- 今後の動き
 - シンポジウム 検証環境での試用を募集中
 - 2026年度内 本番環境の利用開始予定



- 池内有為 (2019) 「研究データ管理 (RDM) の目的地と現在地 (連載: オープンサイエンスのいま)」 『情報の科学と技術』 69 (3) : 125-127. https://doi.org/10.18919/jkg.69.3_125
- (2025) 「大学図書館と研究支援」 令和7年度大学図書館職員長期研修講義資料 (https://tsukuba.repo.nii.ac.jp/record/2016332/files/2025_11_resume.pdf)
- 池内有為・木村麻衣子編 (2025) 『デジタルアーカイブ・ベーシックス 「メタデータ」 のパースペクティブ』 勉誠社.
- 国立情報学研究所学術情報ネットワーク運営・連携本部オープンサイエンス研究データ基盤作業部会トレーニング・サブ・ワーキング・グループ (2021) 「研究データ管理支援人材に求められる標準スキル (ver.0.1)」 . (<https://doi.org/10.20736/0002000219>)
- 大学図書館の仕事制作委員会編 (2006) 『知っておきたい大学図書館の仕事』 エルアイユー.
- 田中あずさ (2017) 『サブジェクト・ライブラリアン——海の向こうアメリカの学術図書館の仕事』 笠間書院.
- 利根川樹美子 (2016) 『大学図書館専門職員の歴史——戦後日本で設置・教育を妨げた要因とは』 勁草書房.
- 長岡千香子 (2025) 「職種別のスキルフレームワークと教材再利用」 甲斐尚人他 Ja
- pan Open Science Summit 2025 「研究データの未来を築く: 研究データ管理人材の育成によるオープンサイエンスの拡がり」 https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/101985/0624JOSS_nagaoka.pdf
- 船守美穂 (2024.3) 「講演 オープンサイエンス時代における大学図書館への期待——研究データ管理と即時OAにどのように立ち向かえば良いのか?」 第109回全国図書館大会岩手大会記録. <https://researchmap.jp/funamori/misc/45920666?lang=ja>
- 宮崎祐汰・石田栄美 (2025) 「データスチュワードとデータチャンピオン——英喫蘭3大学のRDM支援人材を例に」 『大学図書館研究』 128: 1-10
- 文部科学省科学技術・学術審議会学術分科会学術情報委員会 (2016) 「学術情報のオープン化の推進について (審議まとめ)」 . (https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/036/houkoku/1368803.htm)

